

TRANCOM 第67期 株主通信
 上半期のご報告
 2023.4.1 ▶ 2023.9.30



▲ C-AREA蓮田自動化設備

【ごあいさつ】

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第67期上半期(2023年4月1日～2023年9月30日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

【トップメッセージ】

本年6月20日に代表取締役 社長執行役員に就任いたしました、神野 裕弘でございます。

私が社長として取り組むべきことは、トランコムグループが大切にしてきた、物事に取り組む上での姿勢をグループ全体に根付かせ、強い企業グループへの成長に向けて、礎を築いていくことであります。

そのために「誠意を以ってことにあたる」という企業精神・価値観に共鳴する企業集団として、独自のサービスを作り出し、トランコムならではのビジネスモデルで物流業界を牽引し、必要とされる企業グループであり続けるため、果敢に挑戦し、自らも進化を続けてまいりる所存でございます。

今後とも、トランコムグループの成長に一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業環境とこれからの取り組み

私たちを取り巻く社会は大きく変化しており、とりわけ物流業界においては、深刻化する労働力不足、環境負荷低減をはじめとし、差し迫った2024年問題への対応など様々な課題を抱えております。

我々が果たすべき役割と責任は大きな転換期を迎え、未来に向けて、重要な社会インフラを担う物流企業として、様々な社会課題の解決と抜本的な革新の実現を目指すことが使命であると考えております。

トランコムグループは他の物流会社にはないサービスを提供し、3つの柱を軸として、事業成長に取り組んでまいります。

▼ 3つの柱



代表取締役 社長執行役員

神野 裕弘

- ①競争優位性のある物流情報サービス事業
- ②物量波動対応を強みとした地域No.1の物流運営力
- ③ビッグデータを活用した新たなビジネスの創出

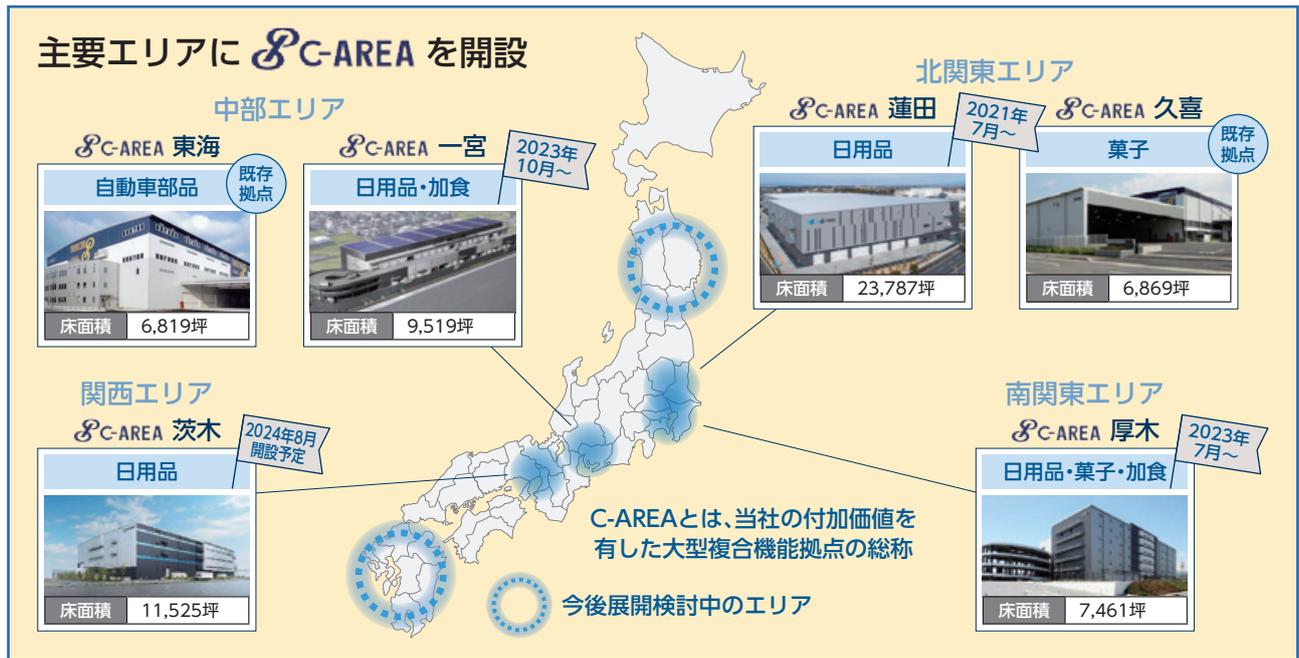
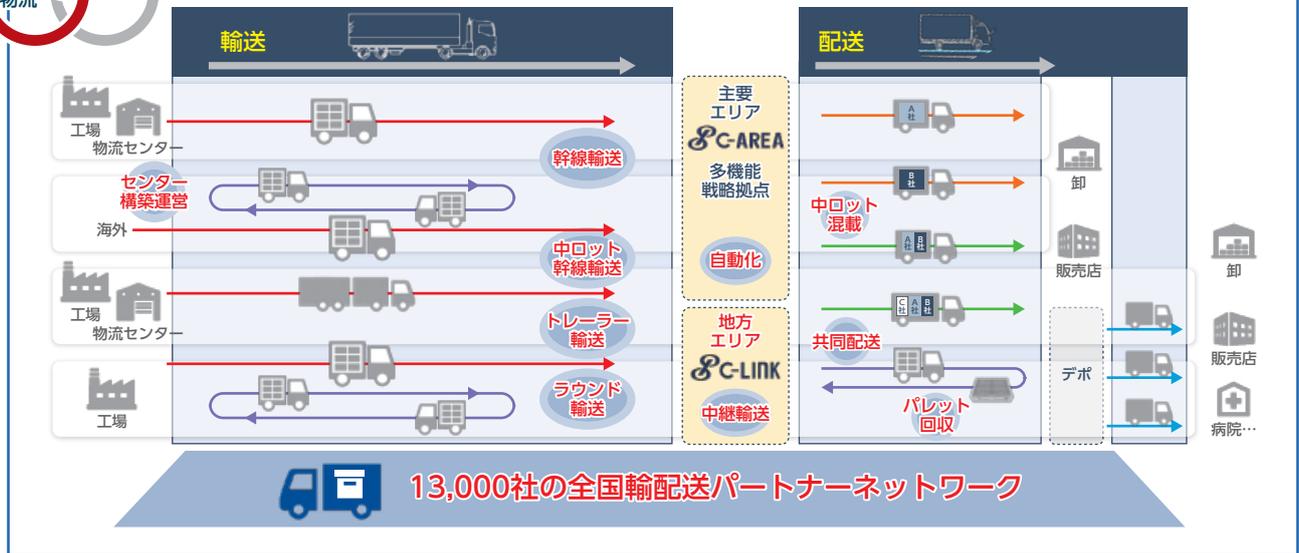
「はこぶ」を創造するための具体的な取り組み



「はこぶ」プラットフォームは同一業界の荷主を集め倉庫を共有化することで共同配送、共同荷役、共用部の有効利用となり、幹線輸送、長距離輸送、ラウンド輸送など、当社が強みとする集聚力を組み合わせた独自の取り組みであり、C-AREAとして主要エリアに開設しております。



「はこぶ」プラットフォームの構築 物流情報サービス事業と物流事業のシナジー効果



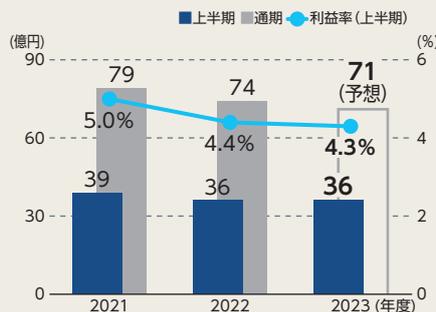
売上高

838億円 前期比0.0%減



営業利益

36億円 前期比1.1%減



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

23億円 前期比29.3%減



セグメント別概況

ロジスティクスマネジメント事業

サプライチェーン全体の課題を分析・理解し、最適な解決策でトータルにサポート

売上高 **27,756**百万円 前期比**1.8%**増

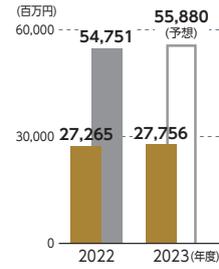
営業利益 **2,054**百万円 前期比**2.4%**増



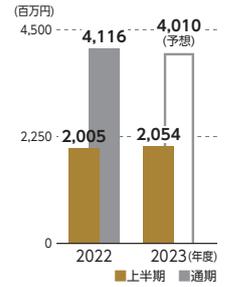
- C-AREA※蓮田での売上増加と、前期稼働した新規カテゴリーの物流業務が寄与し増収
- 新規立上げ拠点の先行投資費用の計上を行ったが、売上増加が利益寄与し増益

※C-AREAとは、当社の付加価値を有した大型複合機能拠点の総称

売上高



営業利益



物流情報サービス事業

約13,000社のネットワークを活用し、空車情報と貨物情報をマッチング

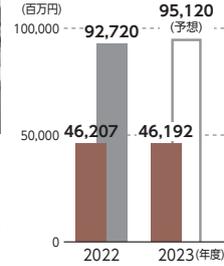
売上高 **46,192**百万円 前期比**0.0%**減

営業利益 **1,110**百万円 前期比**15.6%**減

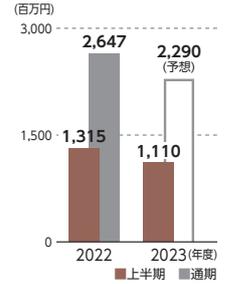


- 中ロット貨物の取扱い強化により成約件数は0.4%増加したが、定期輸送の減少により減収
- 事業成長に向けた人材確保と燃料単価高騰による適正な運賃単価の支払いにより減益

売上高



営業利益



インダストリアルサポート事業

生産業務を請け負い、徹底した生産管理・品質管理を実施し、スムーズな運営をサポート

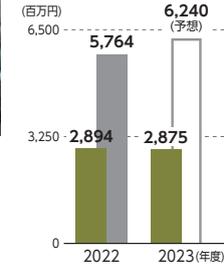
売上高 **2,875**百万円 前期比**0.7%**減

営業利益 **60**百万円 前期比**60.4%**減

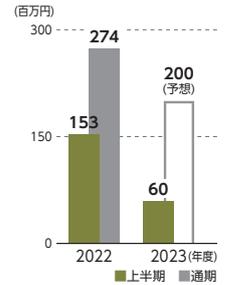


- 稼働人員減により減収減益

売上高



営業利益

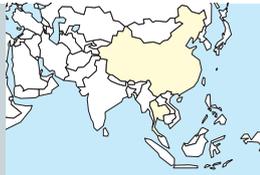


その他

海外事業、自動車整備事業及び情報システム事業

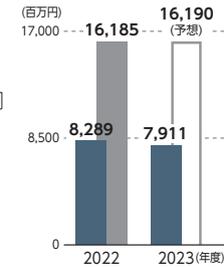
売上高 **7,911**百万円 前期比**4.6%**減

営業利益 **458**百万円 前期比**16.3%**増

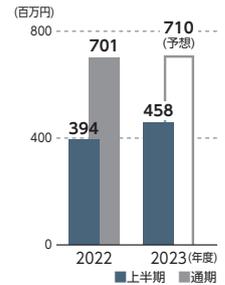


- 前期の情報システム外販事業譲渡により減収
- シンガポールの需要回復により増益

売上高

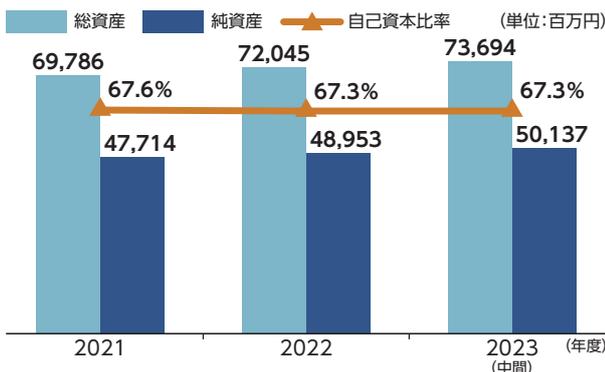


営業利益

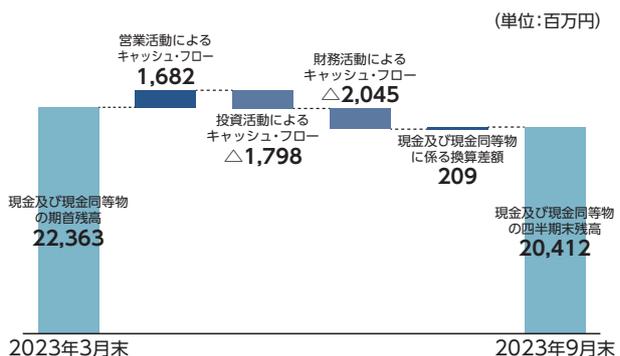


連結財務データ

総資産・純資産・自己資本比率

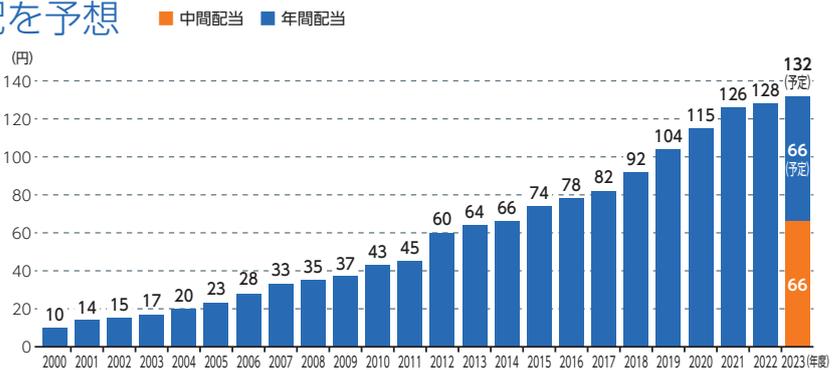


連結キャッシュ・フロー計算書



株主還元 —23期連続の増配を予想

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つとして認識し、経営基盤・財務体質強化に向けた内部留保の確保に留意しつつ、財務状況及び連結業績等を総合的に勘案し、継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、上記方針のもと前事業年度に引き続き増配を実施し、1株当たり中間配当金を、66円としました。年間配当金につきましては、前期と比べ1株当たり4円増配し、132円を予定しております。



株式情報 (2023年9月30日現在)

株式の状況

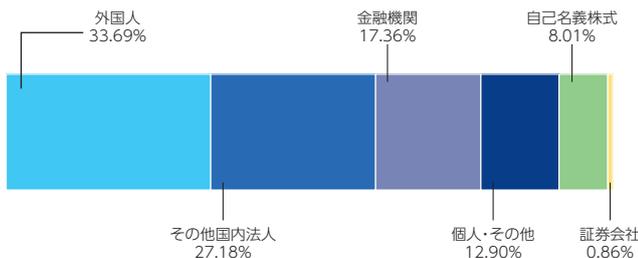
発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式総数 10,324,150株
 株 主 数 3,213名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社AICOH	2,694	28.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	991	10.4
ピーピーエイチ フォーフィデリティ ロープライズストックファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	819	8.6
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	439	4.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	238	2.5
個人	179	1.8
ピーピーエイチ フィデリティ グループ トラスト ベネフィット (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	145	1.5
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー 505303	135	1.4
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー 505103	131	1.3
GOVERNMENT OF NORWAY	125	1.3

(注) 上記のほか、当社は自己株式827千株を保有しており、持株比率の算定においては、自己株式を除いて算出しております。

所有者別株式分布

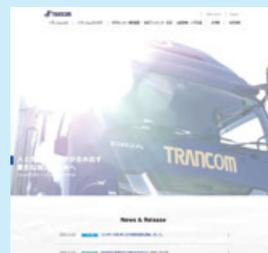


株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主 確定日 3月31日
 中間配当金受領株主 確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 上場証券取引所 東京証券取引所、名古屋証券取引所
 公 告 の 方 法 電子公告により行います。
 公告掲載URL
<https://www.trancom.co.jp>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ホームページのご案内



www.trancom.co.jp



検索



表紙のC-AREA 蓮田自動化紹介動画
www.trancom.co.jp/power/openinnovation/



当社のホームページでは会社概要・事業内容・財務情報などの最新情報や詳細情報をご参照いただけます。

トランコム株式会社

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-19-30
 マザックアートプラザ
 TEL:052-939-2011 (代表)

